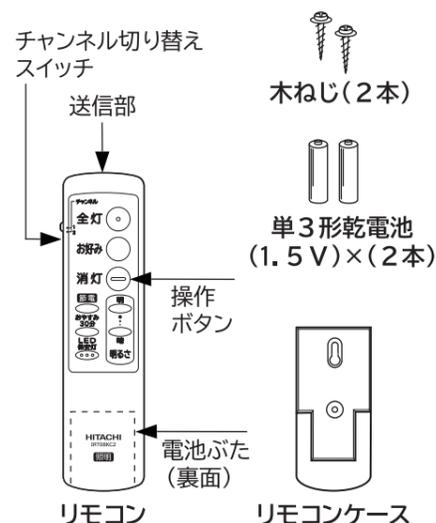


使いかた

準備・リモコンの操作

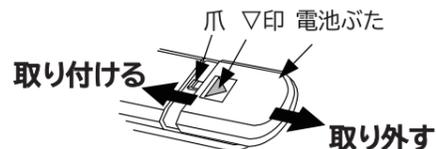
各部の名前・部品



ご注意 ●リモコンの乾電池平均寿命は、1日10回の使用で約1年間が目安です。使用する電池や、条件などでも寿命は変わります。

乾電池の入れかた・交換のしかた

- 1 リモコン裏面の、電池ぶたの▽印を押しながら電池ぶたをずらして取り外してください。
- 2 付属の単3形乾電池を⊕⊖の表示に合わせて入れてください。
- 3 リモコンに電池ぶたをかぶせて▽印を押しながらリモコンに爪が入って「パチン」と音がするまでずらして取り付けてください。



注意

- 種類の異なる乾電池（例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池）また、新旧の乾電池を混ぜて使用しない。
 - 充電式電池は使用しない。
 - 使えなくなった乾電池は可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。
- ※乾電池の誤った使いかたは、液漏れや破裂の原因となります。



必ず守る

- 長期間使用しない場合は、乾電池を取り外しておく。
- ※液もれによるリモコンの故障の原因となります。

点灯確認

- 操作ボタンを押して点灯確認をしてください。（操作ボタンを押すと、リモコンからの信号が本体に入り、本体から電子音が鳴り、受信をお知らせします。）

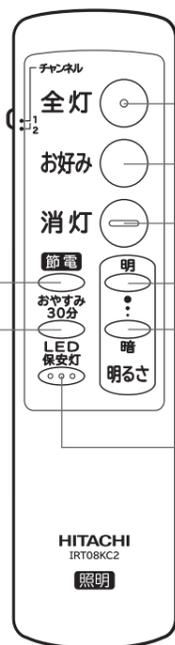
節電ボタン

その時の、蛍光灯点灯状態での消費電力から、約15%の消費電力を節電（動作内容 → P.9）

おやすみ30分ボタン

ボタンを押して、本体から電子音が鳴ると、約30分後に蛍光灯・LED保安灯が消灯

- 蛍光灯点灯時に、おやすみ30分ボタンを押すと、約30分後にLED保安灯に切り替わり、10秒後に消灯します。
- おやすみ30分の動作中に再度ボタンを押すと、本体から「ピッピッ」と電子音が鳴り、おやすみ30分の動作が解除されます。



* 全灯ボタン

蛍光灯が100%の明るさで点灯（チャンネルの設定にも使用します → P.10）

* お好みボタン

蛍光灯を明るさボタンで設定した明るさで点灯（設定の手順 → P.9）

消灯ボタン

蛍光灯・LED保安灯が消灯

明るさボタン

蛍光灯の点灯中、明るさを100%（明）～約15%（暗）の範囲で調節
また、LED保安灯の点灯中、明るさを100%（明）～約10%（暗）の範囲で調節

LED保安灯ボタン

LED保安灯が点灯

（*印……所定の明るさになるまで数秒かかる場合があります。）

- 6 ハンドルが「ロック解除」の位置になっていることを確認してください。

- 7 リモコンをひんぱんに操作する方向に受信部が向くように本体の向きを合わせ、アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、丸穴をアダプタに合わせて、アダプタ両側の爪に掛かるまで押し上げてください。

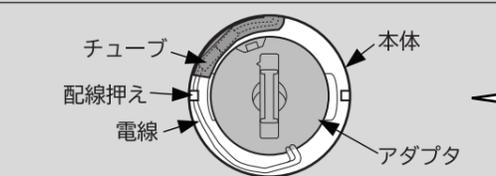
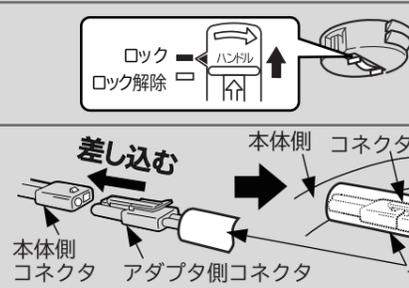
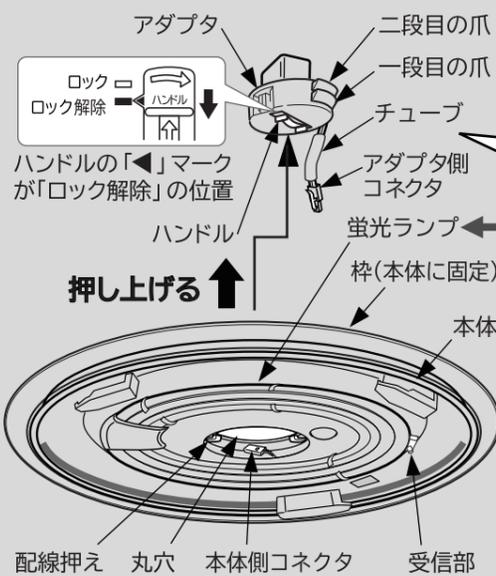
※蛍光灯や枠に、無理なちからを加えない。

本体がガタつく場合はさらに押し上げてください。（爪は上下二段あります。）

- 8 ハンドルを「ロック」の位置にずらしてください。

- 9 アダプタ側コネクタと本体側コネクタを確実に差し込んだ後、アダプタのチューブをずらして、コネクタを確実に覆ってください。

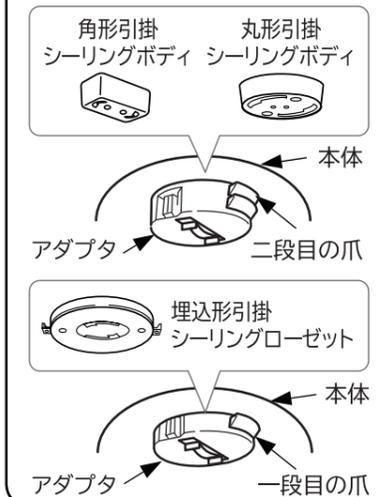
チューブは本体とアダプタのすきまに押し込み、電線を配線押えに引っ掛けてください。



必ず守る

●天井に付いている配線部品により、本体に掛かる爪の位置が変わるので、必ず下の図を参照し、適切な爪（両側ニヶ所）が本体に掛かっていることを確認する。

※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



必ず守る

●蛍光灯や枠に、無理なちからを加えない。

※破損によるケガや落下の原因となります。



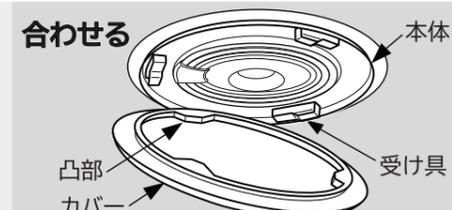
禁止

●コネクタや電線を無理に引っばらない。

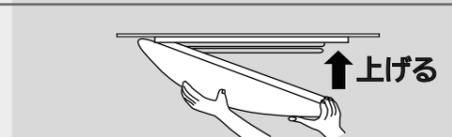
※電線が断線し、感電、故障の原因となります。

カバーの取り付け

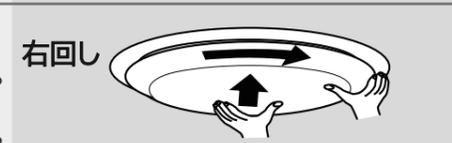
- 10 本体の内側の受け具の間にカバーの凸部を合わせてください。



- 11 反対側を押し上げてください。



- 12 ① 押し上げながら止まるまで右に回してください。
② 確実に止まるまで回したことを確認してください。



禁止

●カバーを正しく取り付け後は、カバーを無理に回さない。

※器具の破損、落下によるけがの原因となります。



必ず守る

●取り付け後、カバーを軽く下にひっぱり確実に取り付けられているか確認する。

※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。